

労働保険の成立手続は お済みですか

～労働者を一人でも雇用していれば労働保険に加入する必要があります～

労働保険とは

労災保険と雇用保険とを総称した言葉で、政府が管掌する強制保険制度です。

労働者を一人でも雇用していれば、加入手続を行わなければなりません（農林水産の一部の事業は除きます）。

労災保険とは

労働者の方が業務中や通勤途上に事故にあった場合に、必要な保険給付を行い、被災された方や遺族の方の生活を保護し、併せて社会復帰を促進する事業を行うための保険制度です。

雇用保険とは

労働者の方が失業した場合に、失業手当等を給付したり再就職を促進する事業を行うための保険制度です。

新たに労働者を雇い入れた場合は、保険料の納付とは別に、その都度、事業所を管轄する公共職業安定所（ハローワーク）に「雇用保険被保険者資格取得届」の提出が必要です。

労働保険の適用事業情報がインターネットで確認いただけます

- 平成22年12月から、事業主が労働保険の加入に必要な手続きを行っているか否かを、求職者や労働者の方々がインターネット上で検索できるようになります。
- 詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

http://www2.mhlw.go.jp/topics/seido/daijin/hoken/980916_1.htm

厚生労働省トップページ「行政分野ごとの情報」内「労働基準」→ 「労働保険の適用・徴収」
→ 労働保険に関する総合情報はこちら

